

白石和紙について

菅野 恭子



〔質問〕ユネスコ無形文化遺産保護条約第九回政府委員会において、日本の「和紙・日本の手漉和紙技術」が代表一覧表に記載される決議がされた。本市には、今回の登録対象ではないが、各界から高い評価を受け利用されている白石和紙がある。現在、諸課題から存続が厳しいと聞く。白石和紙は文化・産業・観光等の多面的に重要な価値を有している。存続のため、行政として必要な支援を積極的に行うべきではないか。

〔答弁〕【市長】最盛期には300軒あった白石和紙の工房は、明治以降の洋紙に押され、現在は一工房のみである。

その方も高齢のため後継者の課題がある。このままでは歴史ある貴重な白石和紙文化が途絶えてしまうのではと危機感を持っている。ぜひ、この文化を後世に伝承できないかと考え、本人の意向を確認しており、その結果を受け、今後の方向性を見きわめていきたい。

◎季節性インフルエンザの助成拡大について

〔質問〕本市は、中学3年生を対象に、千円負担で予防接種が可能となり、保護者から大変喜ばれている。しかし、13歳未満の子どもの当接種は2回必要で、その費用は刈田総合病院では6千500円で、保護者からは、負担が大きいとの声が多くある。兄弟姉妹がいる家庭ではなおのことである。

大事な子ども健康を守るため、また子育て支援の見地から、ぜひ、その費用を助成すべきではないか。

〔答弁〕【市長】子どもの当接種は任意であるが、将来の進路へ与える影響を考慮し、受験生である中学3年生を対象に一部助成することにしたが、現在、対象拡大は考えていない。

〔質問〕市内のある企業の方から、「若い人が集まる子育て支援策を市に尽力願いたい」旨を伺った。方策はいろいろあるが、医療支援は重要である。懸命に働く若い世代を支援するためにも、対象拡大を検討すべきではないか。

〔答弁〕【市長】子育て支援は、定住促進など全体を見ていく必要がある。市の財政もしっかりと把握したうえで押し進めていく必要がある。そのため、対象拡大は、現在のところ考えていない。

議会のライブ中継を開始

12月定例会において、インターネットによる議会のライブ中継を開始しました。

議場で行われる本会議や予算審査特別委員会などがライブ中継や過去の映像として配信され、ご自宅のパソコンやスマートフォンなどで会議の様子をご覧になれます。



議場での一般質問の様子



11 市のホームページの「市議会ライブ中継」をクリック

ライブ中継に使用している議場システム